## 3 研究構想図

学校教育目標

**ふるさとを誇りに思い、たくましく未来を拓く子の育成**

| | いのち | まなび | えがお |
|---|---|---|---|
| めざす児童像 | 向上心をもち、粘り強くチャレンジする子 | 学びをつなぎ、考えを深める子 | よりよい学校・学級のために考え、実践する子 |

【研究主題】

**自ら学びを更新し、確かな『わかった！』へと高める子の育成**

**～具体的なゴールを見通した『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を通して～**

**研究の重点Ⅱ　個別最適な学びと協働的な学びの一体化**

**○自ら学びを更新する「ちょいすご授業」**

**〈個別最適な学び〉**
- 考えをもつ
- 知りたいことを明確にする
- 考え直す・付け足す

**更新**

**〈協働的な学び〉**
- 深める・広げる・自信をもつ
- 必要な相手を選び、相談
- 学びを更新

達成感・成就感

成長や学びを自覚する視点や場面の設定

話し方・聞き方の指導による学びの深まり

学ぶ意欲

自己調整

〈目的に合わせた選択〉

☆考えをもつための「ちょいすご」
ツールの選択
ヒントの選択
交流する相手の選択
表現の選択

☆考えを伝え合う広げるための「ちょいすご」
交流する目的の選択
方法・場所の選択

**資質・能力育成の育成**

**主体的・対話的で深い学び**

**研究の重点Ⅰ　「具体的なゴール」から逆算する授業デザイン・単元構想**

- 付けたい力の明確化
- 児童のゴールの姿を想定
- 力をつけるための手立て

**研究の重点Ⅲ　学びの基盤づくり**

1. 学力を支える取組
   - 朝自習の時間の活用（今江検定、計算力言語力）
2. 家庭学習の充実・自学の質の向上
   自学交流会、校長グランプリ、高学年からの「けテぶれ」

**生徒指導部の取組**

- 主体性の素地づくり
- 互いを認め合い共感的な人間関係の学級づくり